

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人札幌国際大学

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 上野 八郎

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	札幌国際大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	<input checked="" type="radio"/> (大学) 短期大学・高等専門学校・専門学校
大学等の所在地	札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1
学長又は校長の氏名	蔵満 保幸
設置者の名称	学校法人札幌国際大学
設置者の主たる事務所の所在地	札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1
設置者の代表者の氏名	上野 八郎
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.siu.ac.jp/01sougou/information/9297.html#13

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	経営企画室課長 設楽 卓志	011-881-8844	t-shidara@ad.siu.ac.jp
第2号の1	教務課長 堀 健介	011-881-8844	hori@ad.siu.ac.jp
第2号の2	経営企画室課長 設楽 卓志	011-881-8844	t-shidara@ad.siu.ac.jp
第2号の3	教務課長 堀 健介	011-881-8844	hori@ad.siu.ac.jp
第2号の4	教務課長 堀 健介	011-881-8844	hori@ad.siu.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定

める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	札幌国際大学
設置者名	学校法人札幌国際大学

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	2,077,780,731円	3,149,403,769円	▲1,071,623,038円
申請2年度前の決算	1,980,157,382円	2,776,024,701円	▲795,867,319円
申請3年度前の決算	1,957,866,591円	2,466,048,702円	▲508,182,111円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	13,506,243,386円	113,767,952円	13,392,475,434円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	1,760人	1,433人	81%
前年度	1,785人	1,276人	71%
前々年度	1,810人	1,177人	65%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌国際大学
設置者名	学校法人 札幌国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
人文学部	現代文化学科	夜・通信	22	0	10	32	13		
	心理学科臨床心理専攻	夜・通信			24	46	13		
	心理学科子ども心理専攻	夜・通信			34	56	13		
観光学部	観光ビジネス学科	夜・通信		26		22	70	13	
	国際観光学科	夜・通信				26	74	13	
スポーツ人間学部	スポーツビジネス学科	夜・通信		12		24	58	13	
	スポーツ指導学科	夜・通信	12			45	13		
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus 抽出方法：[大短区分]→「大学」を選択 [入学年度]→「2020年度」「2019年度」又は「2018年度」を選択 [学部・学科]→上記学科又は「大学共通科目」を選択 [フリーワード]→「実務経験のある教員」を入力</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌国際大学
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>本学ホームページにおいて公表 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/b8634956eb9630e2c5b984440883b3c4-1.pdf</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 株式会社役員	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(前職) 国家公務員	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(現職) 大学名誉教授	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌国際大学
設置者名	学校法人 札幌国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>教員に対して次年度担当授業科目のお知らせをする際に、当該授業科目のシラバス原稿の作成依頼をあわせて行っている。シラバスの記載項目は、「講義の目的及び概要」「講義方法(当該担当教員の実務経験の有無を含む)」「授業計画」「到達目標」「成績評価基準と方法」「テキスト・参考文献」「事前事後学修」等について記載することとし、各項目の記載内容及び記載例をシラバス作成要領で示している。</p> <p>シラバスは、Web上で入力可能なシステムが構築されており、教員はWeb上に表示される次年度担当授業科目一覧から選択し入力していく。</p> <p>入力締め切り後、「シラバスチェック実施要領」で定められたチェックの観点に基づいて、各学科等の教務部員が内容の確認を行う。チェックの結果、明らかに基準に合致していないと判断される場合には、当該教員にフィードバックし修正を求める。</p> <p>なお、シラバスの作成についてはすべての学部で同様に進められ、当該年度の4月1日にWeb公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価は定期試験だけではなく、授業内の小テスト・発表・レポート・課題への取り組み状況など複数の項目の合計得点によって決定している。科目担当者はこれらの配点をシラバスに明記するとともに、各項目の得点を記した資料を単位成績認定時に提出し、成績の算出根拠を明示するなど厳密な成績評価を実施している。成績評価の基準は科目ごとにシラバスで示されており、『Study Guide』に明記されている次の2つの原則に則ったものとなっている。</p> <p>1) 科目の単位は、実施された全ての回の授業についての学習と、事前事後の自己学習に対して認められる。</p> <p>2) 病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要である。</p> <p>なお、成績評価の基準はすべての学部で同様に取り扱っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学習を効果的に進め、その質を高めるためにGPA制度を全学部で統一的に導入している。学生の成績評価を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができる。</p> <p>GPAは科目毎の成績評価に対して0.0点(不可)、1.0点(可)、2.0点(良)、3.0点(優)、4.0点(優+)のグレードポイントをつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出する。</p> <p>また、GPAの算出方法については『Study Guide』に明記して学生に周知している。さらに、各学期末にGPAが記載された個人成績表を保護者に送付する際、GPA制度についての説明を付し周知を図っている。</p> <p>なお、GPAの数値に応じて次の学期の履修科目上限が学生ごとに決まるCAP制度を採用しており、これを厳正に適用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『Study Guide』 p.16～17 に記載 (http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/06/2020_SIU-1.pdf)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>札幌国際大学は柔軟な思考力と実践力を貴ぶ学風の下に、深く専門の学芸を教授研究し、職業および社会生活に必要な教育を施し、自由、自立、自省の精神による人間形成を重んじ、地域生活の創造と国際社会の発展に寄与する社会人を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。</p> <p>①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けている。 ②理想を求め、明日の地域社会、国際社会へ寄与する姿勢を身に付けている。 ③自立して生きていくための生活習慣、社会人基礎力を身に付けている。 ④自立して生きていくための幅広い教養、技能を身に付けている。 ⑤自立して生きていくための専門知識、技能を身に付けている。 ⑥大学生活における諸活動を通じて、自主、自律、協同の精神を身に付けている。</p> <p>さらに学部、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針を定めホームページに掲載している。</p> <p>卒業の要件は『Study Guide』に明示し、教務部及び教授会で厳格な卒業判定を実施している。卒業の要件は次の3つである。</p> <p>1) 4年以上在学すること。ただし、休学等による学修中断の期間は、この在学期間に含まれない。また、在学可能期間は、休学期間を除き8年間が限度である。 2) 学則に定められた各学科の教育課程および履修方法によって124単位以上を修得すること。 3) 定められた授業料を完納すること</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>卒業認定・学位授与の方針： http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/85.html 卒業要件：『Study Guide』 p.7 に記載</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌国際大学
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf
財産目録	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf
事業報告書	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/86d9c4f9cb1455fedd1e30a548d728bb.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

<p>公表方法: ※リンク先は「H29年度大学機関別認証評価 自己点検評価書」となっているが、平成28年度を自己点検・評価した内容で、平成29年に第三者評価を受審のため作成したものである。 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/7c5a948b5f1bae6e7e9d5f4d4c72528a.pdf</p>

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法：

http://www.jiheer.or.jp/kikanbetsu/2017/30sapporo_international_university.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 学部共通
教育研究上の目的 (公表方法：公表方法：ホームページ、 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/09/3178558b1d6da16a3eea516e467157b3.pdf)
(概要)
人文学部 人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養い、人文学の基礎的知識を習得するだけでなく知識の活用能力を持った自立して行動できる人材を育成する。
現代文化学科 言語・文化・コミュニケーションをキーワードに、コミュニケーション能力を高め、他者の歴史・文化・宗教・習慣に対する理解を深めることで、グローバルに活躍できる人材を育成する。
心理学科 教養教育によって培われる豊かな人間性を基盤に、心理学の基礎理論と臨床心理学的援助及び幼児教育・保育の知識と技能を習得して、医療、福祉、教育、保育などの現場で、専門的対人援助が行える基礎力を育成する。
観光学部 観光に関する専門的知識・実践的な知識を有し、観光を通じた地域振興と国内・国際観光の分野で活躍できる人材を育成する。
観光ビジネス学科 豊かな教養ともてなしの姿勢を培い、観光ビジネスについて体系的・実践的に学習し、企業や団体等の組織における経営活動を推進する人材を育成する。
国際観光学科 豊かな教養ともてなしの姿勢を培い、観光振興、観光文化について体系的・実践的に学習し、観光の国際化に対応する団体や企業等の活動を推進する人材を育成する。
スポーツ人間学部 生涯学習社会への移行とともに高まっているスポーツや健康に対する社会の要請に応え、地域スポーツの振興と個人の健康づくりに貢献できる有為な人材を育成する。
スポーツビジネス学科 スポーツや健康に関する知識を習得し、スポーツビジネスの現場で活躍できる人材を育成する。
スポーツ指導学科 生涯スポーツの育成発展に努めながら、スポーツを通して地域社会に貢献できる教養豊かなスポーツ指導者を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項 http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/85.html)

(概要)

札幌国際大学は柔軟な思考力と実践力を貴ぶ学風の下に、深く専門の学芸を教授研究し、職業および社会生活に必要な教育を施し、自由、自立、自省の精神による人間形成を重んじ、地域生活の創造と国際社会の発展に寄与する社会人を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

- ①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けている。
- ②理想を求め、明日の地域社会、国際社会へ寄与する姿勢を身に付けている。
- ③自立して生きていくための生活習慣、社会人基礎力を身に付けている。
- ④自立して生きていくための幅広い教養、技能を身に付けている。
- ⑤自立して生きていくための専門知識、技能を身に付けている。
- ⑥大学生活における諸活動を通じて、自主、自律、協同の精神を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：公表方法：公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/98.html>）

(概要)

札幌国際大学は柔軟な思考力と実践力を貴ぶ学風の下に、深く専門の学芸を教授研究し、職業および社会生活に必要な教育を施し、自由、自立、自省の精神による人間形成を重んじ、地域生活の創造と国際社会の発展に寄与する社会人を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき提供する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すために、各学部・学科に初年次教育科目を設定し、組織的な初年次教育の充実を図る。
- ②柔軟な思考力と実践力を貴ぶ学風の下に、各学部・学科の教育目的に応じて自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ④深く専門の学芸を教授研究することを目的として、各専門分野における知識、技能修得のための学部・学科科目を設定する。
- ⑤自由・自立・自省の精神に沿った人間形成を目指し、人文、社会分野を中心とする教養修得のための教養科目を設定する。
- ⑥地域生活の創造と国際社会の発展に寄与する社会人を育成するために、情報技能、日本語、外国語能力修得のための言語情報科目を設定する。
- ⑦キャリア形成の観点から、社会人基礎力修得のためのキャリア科目を設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑧成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位数修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項、http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_a/100.html）

(概要)

札幌国際大学は柔軟な思考力と実践力を貴ぶ学風の下に、深く専門の学芸を教授研究し、職業および社会生活に必要な教育を施し、自由、自立、自省の精神による人間形成を重んじ、地域生活の創造と国際社会の発展に寄与する社会人を育成することを目的としている。

【求める学生像】

札幌国際大学は、上記の目的に賛同し、各学部・学科の教育研究に関心を持つ人、本学の体系的・実践的なカリキュラムの下、主体的・積極的・能動的な学びを通じて身に付けた幅広い知識・教養、論理的思考力、コミュニケーション能力、表現力を生かし、地域社会に貢献することのできる人、多様な分野において知的好奇心を抱き、専門知識、技能を基に地域社会における課題を探究し、解決する能力を身に付けられる人を受け入れる。なお、本学への入学を希望する人は高等学校の教育課程等において次に示す能力を身に付けていることを求める。

<p>①高等学校等の教育課程で学んだ知識、技能。特に資料を読み解き、考えを表現し、他者とのコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力も要する。</p> <p>②高等学校等の教育で学んだ豊かな心、他者を尊重する社会性</p> <p>③高等学校等の教育で学んだ協同する心と探究心</p>

<p>学部等名 人文学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページ、http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/09/3178558b1d6da16a3eea516e467157b3.pdf）</p>
<p>（概要）</p> <p>人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養い、人文学の基礎的知識を習得するだけでなく知識の活用能力を持った自立し行動できる人材を育成する。</p>
<p><u>現代文化学科</u></p> <p>言語・文化・コミュニケーションをキーワードに、コミュニケーション能力を高め、他者の歴史・文化・宗教・習慣に対する理解を深めることで、グローバルに活躍できる人材を育成する。</p>
<p><u>心理学科</u></p> <p>教養教育によって培われる豊かな人間性を基盤に、心理学の基礎理論と臨床心理学的援助及び幼児教育・保育の知識と技能を習得して、医療、福祉、教育、保育などの現場で、専門的対人援助が行える基礎力を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項 http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/85.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養い、人文学の基礎的知識を修得するだけでなく知識の活用能力を持った自立して行動できる人材を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。</p> <p>①人文学の基礎的知識、技能の修得およびそれを基にした専門知識、技能の修得</p> <p>②人文学の知識、技能の活用能力</p> <p>③自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力</p>
<p><u>現代文化学科</u></p> <p>言語・文化・コミュニケーションをキーワードに、コミュニケーション能力を高め、他者の歴史・文化・宗教・習慣に対する理解を深めることで、グローバルに活躍できる人材を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。</p> <p>①文化領域における基礎的知識の修得</p> <p>②言語、コミュニケーション領域における基礎的知識の修得</p> <p>③上記①、②を基にした専門知識、技能の修得</p> <p>④国際社会に関する教養の修得</p> <p>⑤修得した知識、技能の活用能力</p> <p>⑥自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力</p>
<p><u>心理学科</u></p> <p>教養教育によって培われる豊かな人間性を基盤に、心理学の基礎理論と臨床心理学的援助および幼児教育・保育の知識と技能を習得して、医療、福祉、教育、保育などの現場で、専門的対人援助が行える基礎力を有する人材の育成を目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を</p>

修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/98.html>）

（概要）

人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養い、人文学の基礎的知識を修得するだけでなく知識の活用能力を持った自立して行動できる人材を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ① 高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ② 人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養うことを目的とし、自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③ 人文学の基礎的知識の修得のために「学部共通科目」に配置している「人文学概論」を中心に人間理解のための基礎知識に関する科目を設定する。
- ④ 「学部共通科目」に配置している「基礎演習Ⅰ」、「基礎演習Ⅱ」を中心に知識の活用能力を修得するための科目を設定する。
- ⑤ 自立して行動できる人材を育成することを目的とし、「教養科目」、「言語情報科目」、「キャリア科目」を中心に幅広い教養を修得するための科目を設定する。
- ⑥ 専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各学科に学科専門科目を設定し、各学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑦ 演習、実習、フィールドワーク、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑧ キャリア形成の観点から、社会人基礎力修得のためのキャリア科目を設定し、社会的・職業的自立に必要な能力を育む。
- ⑨ 成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

現代文化学科

言語・文化・コミュニケーションをキーワードに、コミュニケーション能力を高め、他者の歴史・文化・宗教・習慣に対する理解を深めることで、グローバルに活躍できる人材を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ① 高大接続の観点から大学教育への円滑な移行を促すため初年次教育の充実を図る。
- ② 「学びの技法Ⅰ」、「基礎演習Ⅰ」等の授業において現代文化への問題意識を高め、考察力、発信力を身に付ける。
- ③ 「現代文化論」、「現代思想」、「メディア・リテラシー論」等の授業において現代、日本、社会、文化といった多元的視点から現代文化の諸相を理解する。
- ④ 「国際関係論」、「近代日本史」、「博物館概論」、「社会言語学」、「ConversationⅠ・Ⅱ」等の授業において現代文化に関わる専門知識と技能を修得する。
- ⑤ 「プロジェクト演習Ⅰ」、「応用演習Ⅰ」、「テーマ研究Ⅰ」、「卒業研究」等の授業において実践力、課題発見・課題解決力を修得する。
- ⑥ 演習、実習、フィールドワーク、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑦ キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑧ 成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

心理学科

教養教育によって培われる豊かな人間性を基盤に、心理学の基礎理論と臨床心理学的援助および幼児教育・保育の知識と技能を修得して、医療、福祉、教育、保育などの現場で、

専門的対人援助が行える基礎力を有する人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②「心理学概論」、「心理調査概論」、「心理学統計法」、「心理学実験Ⅰ(基礎)」などの授業において心理学の基礎理論、方法を理解する。
- ③「臨床心理学概論」、「発達心理学」、「教育・学校心理学」などの授業において臨床、幼児教育、保育分野の心理学的アプローチを理解する。
- ④専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各専攻に専攻専門科目を設定し、各専攻の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑤演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項、http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_a/100.html）

（概要）

人間の理解をテーマに真理を探究する心と感性を養い、人文学の基礎的知識を修得するだけでなく知識の活用能力を持った自立して行動できる人材を育成することを目的としている。

【求める学生像】

本学部は、上記のような人材を育成するため、本学部の目的に賛同し、本学部・学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①人間に対する理解に関心があり、探究心を有している人
- ②本学部の修学の中心である人文学分野に興味を有している人
- ③本学部の修学において知識の活用在意欲を有している人
- ④本学部の人間の理解をテーマとする体系的・実践的カリキュラムの下、幅広い教養、専門知識、技能を培い、人間・社会・文化について旺盛な好奇心を持つと共に、現代社会における課題を発見し、解決する能力を身につけ、地域社会に貢献することのできる人

なお、本学への入学を希望する人は高等学校の教育課程等において次に示す姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学部の教育に適応できる基礎学力
特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。
- ②部活動等を通じて得られた協同する姿勢
- ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④現代社会の動きに目を向ける姿勢

現代文化学科

言語・文化・コミュニケーションをキーワードに、コミュニケーション能力を高め、他者の歴史・文化・宗教・習慣に対する理解を深めることで、グローバルに活躍できる人材を育成することを目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①人間、言語、文化、社会、歴史、コミュニケーションなど、人文学に関わる様々な事象や問題について、幅広く興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとする人

②学外・学内のフィールド調査やグループ研究で共同して取り組み、互いに学び合う姿勢を持った人

③自身の教養や経験を実社会で積極的に生かし、社会に還元していこうとする人

④本学科の体系的・実践的なカリキュラムの下、歴史・文化・宗教・習慣についての幅広い教養、専門知識・探求力を養い、現代社会、歴史理解、異文化・国際交流等に関する課題を発見し、解決する能力を身に付け、国際社会・地域社会の発展に貢献することのできる人

なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次に示す姿勢、能力を身に付けていることを求める。

①基本的な言語運用能力を身につけ、文化、社会、歴史についての基礎的学力を身に付けていること。

②現代社会で起こっていることに興味・関心をもち、自分の経験や活動などを自らの言葉で表現できること。

心理学科

教養教育によって培われる豊かな人間性を基盤に、心理学の基礎理論と臨床心理学的援助および幼児教育・保育の知識と技能を修得して、医療、福祉、教育、保育などの現場で、専門的対人援助が行える基礎力を有する人材の育成を目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科・専攻の目的に賛同し、本学科・専攻の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

臨床心理専攻

①人間の心や社会に関するさまざまな問題に広く関心を持ち、学ぶ意欲が高い人

②自分を見つめるとともに、人へのいたわりの気持ちを持つことができる人

③地域における心のケアやカウンセリングなど対人援助の分野で活躍する意欲のある人

④臨床心理学的援助に関する知識、技能の修得を目的とした体系的・実践的なカリキュラムの下、臨床心理学、心理療法、カウンセリング等に関する幅広い教養、専門知識、技能を培うことを通じて身に付けた対人理解や対人援助、心の支援等に関する能力を生かし、地域社会に貢献できる人

なお、本専攻への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次に示す姿勢、能力を身に付けていることを求める。

①読む・書く・話す・聞くといったコミュニケーションに必要な言語運用能力(特に国語)

②現代社会で起こっていることに興味・関心をもち、自分の経験や活動等を自らの言葉で表現できること。

子ども心理専攻

①人間の心や社会に関するさまざまな問題に広く関心を持ち、学ぶ意欲が高い人

②人間の発達に携わる者としての責任を自覚し、人との関わりの中で自己形成の努力ができる人

③幼児教育や児童福祉の分野で活躍することを旨とする人

④大学の学びに必要な基礎的学力を備えている人

⑤幼児教育・保育の知識、技能修得を目的とした体系的・実践的なカリキュラムの下、保育の心理学、教育心理学等に関する幅広い教養、専門知識、技能を培うことを通じて身に付けた子どもの成長・発達を援助できる能力・技能を生かし、地域社会に貢献できる人

なお、本専攻への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次に示す姿勢、能力を身に付けていることを求める。

①読む・書く・話す・聞くといったコミュニケーションに必要な言語運用能力(特に国語)

②現代社会で起こっていることに興味・関心をもち、自分の経験や活動等を自らの言葉で

表現できること。

学部等名 観光学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ、 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/09/3178558b1d6da16a3eea516e467157b3.pdf ）
（概要） 観光に関する専門的知識・実践的な知識を有し、観光を通じた地域振興と国内・国際観光の分野で活躍できる人材を育成する。
<u>観光ビジネス学科</u> 豊かな教養とてなしの姿勢を培い、観光ビジネスについて体系的・実践的に学習し、企業や団体等の組織における経営活動を推進する人材を育成する。
<u>国際観光学科</u> 豊かな教養とてなしの姿勢を培い、観光振興、観光文化について体系的・実践的に学習し、観光の国際化に対応する団体や企業等の活動を推進する人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：、キャンパスガイド、入学試験要項、 http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/85.html ）
（概要） 観光に関する専門的知識・実践的な知識を有し、観光を通じた地域振興と国内・国際観光の分野で活躍できる人材の育成を目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。
① 観光学の基礎的知識、技能の修得およびそれを基にした専門知識、技能の修得 ② 観光学の知識、技能の活用能力 ③ 自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力
<u>観光ビジネス学科</u> 豊かな教養とてなしの姿勢を培い、観光ビジネスについての専門的、実践的な知識を修得し、観光ビジネス分野で活躍する人材の育成を目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。
①観光学の基礎的知識、技能の修得 ②観光ビジネス分野の専門知識、技能の修得 ③観光ビジネス分野の実践的知識、技能の修得 ④ 修得した知識、技能の活用能力 ⑤ 自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力
<u>国際観光学科</u> 豊かな教養とてなしの姿勢を培い、地域の観光振興、観光文化に資する国際観光についての専門的、実践的な知識を修得し、国際観光分野で活躍する人材の育成を目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。

- ①観光学の基礎的知識、技能の修得
- ②国際観光分野の専門知識、技能の修得
- ③国際観光分野の実践的知識、技能の修得
- ④修得した知識、技能の活用能力
- ⑥ 自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/98.html>）

（概要）

観光学部は観光に関する専門的知識・実践的な知識を有し、観光を通じた地域振興と国内・国際観光の分野で活躍できる人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②「観光学部共通科目」に配置している「観光概論」を中心に観光学の基礎知識に関する科目を設定する。
- ③「観光学部共通科目」に配置している「2年演習(基礎)」、「3年演習(基礎)」を中心に観光学の基礎的知識の活用能力を修得するための科目を設定する。
- ④「観光学部共通科目」に配置している「ホスピタリティ論」、「観光実践演習」を中心に自立して行動できる姿勢を養う科目を設定する。
- ⑤専門的知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各学科に学科専門科目を設定し、各学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑥演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑦キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑧成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

観光ビジネス学科

豊かな教養ともてなしの姿勢を培い、観光ビジネスについての専門的、実践的な知識を修得し、観光ビジネス分野で活躍する人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②「観光ビジネス論」、「観光企業研究」などを中心に観光ビジネスの基礎的知識の修得に関する科目を設定する。
- ③「ホテルビジネス実務」、「航空ビジネス実務」、「旅行ビジネス実務」などを中心に観光ビジネス分野の専門知識の修得に関する科目を設定する。
- ④「ホテル演習」、「航空演習」、「旅行演習」などを中心に観光ビジネス分野の実践的知識の修得に関する科目を設定し、能動的・自主的な学修の充実を図る。なお、観光学部共通科目に設定されている「観光実践演習」は観光企業との協同で実施している実践力を養う科目でもある。
- ⑤キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。「観光学部共通科目」に配置している「ホスピタリティ論」、「観光実践演習」などは自立して行動できる姿勢を養う科目である。加えて、「キャリア科目」に設定されている「インターンシップ A」などは企業の受入の承諾があつて成立する科目であり、社会人としての礼儀、職務に対する勤勉性などが企業により評価されるため、事前に自主的に姿勢を整えることが不可欠である。
- ⑥成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

国際観光学科

豊かな教養とてなしの姿勢を培い、地域の観光振興、観光文化に資する国際観光についての専門的、実践的な知識を修得し、国際観光分野で活躍する人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ① 高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ② 「国際観光論」、「国際観光ビジネス」、「インバウンド概論」などを中心に国際観光の基礎的知識の修得に関する科目を設定する。
- ③ 「アジア観光論」、「観光地形成」などを中心に国際観光の専門知識の修得に関する科目を設定する。
- ④ 「海外観光研修」、「観光ボランティア」などを中心に国際観光の実践的知識の修得に関する科目を設定し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑤ キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。「観光学部共通科目」に配置している「ホスピタリティ論」、「観光実践演習」などは自立して行動できる姿勢を養う科目である。加えて、「キャリア科目」に設定されている「インターンシップ A」などは企業の受入の承諾があって成立する科目であり、社会人としての礼儀、職務に対する勤勉性などが企業により評価されるため、事前に自主的に姿勢を整えることが不可欠である。
- ⑥ 成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/100.html>）

（概要）

観光学部は観光に関する専門的知識・実践的な知識を有し、観光を通じた地域振興と国内・国際観光の分野で活躍できる人材の育成を目的としている。

【求める学生像】

本学部は、上記のような人材を育成するため、本学部の目的に賛同し、本学部・学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ① 観光ビジネス分野に関心があり、探究心を有している人
- ② 国際観光分野に関心があり、探究心を有している人
- ③ 本学部の修学において知識の活用に意欲を有している人
- ④ 観光学に関する体系的・実践的カリキュラムの下、観光学についての幅広い教養、専門知識、探究力を養い、身に付けたてなしの姿勢、論理的思考力、コミュニケーション能力、実践的能力、課題解決能力を生かして、観光産業、観光振興の発展に貢献することのできる人

なお、本学部への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

① 学部の教育に適応できる基礎学力

特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。

- ② 部活動等を通じて得られた協同する姿勢
- ③ ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④ 国内、海外の観光の動きに目を向ける姿勢

観光ビジネス学科

豊かな教養とてなしの姿勢を培い、観光ビジネスについての専門的、実践的な知識を修

得し、観光ビジネス分野で活躍する人材の育成を目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①ホテルビジネスに関心があり、探究心を有している人
- ②航空ビジネスに関心があり、探究心を有している人
- ③旅行ビジネスに関心があり、探究心を有している人
- ④本学科の修学において知識の活用に意欲を有している人
- ⑤観光ビジネスに関する体系的・実践的カリキュラムの下、観光学についての幅広い教養、専門知識、探究力を養い、身に付けたもてなしの姿勢、論理的思考力、コミュニケーション能力、実践的能力、課題解決能力を生かして、観光産業、観光振興の発展に貢献することのできる人

なお、本学科へ入学を希望する人は高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学科の教育に適応できる基礎学力
特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。
- ②部活動等を通じて得られた協同する姿勢
- ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④国内、海外の観光の動きに目を向ける姿勢

国際観光学科

豊かな教養ともてなしの姿勢を培い、地域の観光振興、観光文化に資する国際観光についての専門的、実践的な知識を修得し、国際観光分野で活躍する人材の育成を目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①世界の観光地に関心があり、探究心を有している人
- ②国際観光ビジネスに関心があり、探究心を有している人
- ③語学力を高め国際観光分野で活躍したい意欲を有している人
- ④情報に関する技能を高め国際観光分野で活躍したい意欲を有している人
- ⑤本学科の修学において知識の活用に意欲を有している人
- ⑥国際観光に関する体系的・実践的カリキュラムの下、観光学についての幅広い教養、専門知識、探究力を養い、身に付けたもてなしの姿勢、論理的思考力、コミュニケーション能力、実践的能力、課題解決能力を生かして、観光産業、観光振興の発展に貢献することのできる人

なお、本学科へ入学を希望する人は高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学科の教育に適応できる基礎学力
特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。
- ②部活動等を通じて得られた協同する姿勢
- ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④国内、海外の観光の動きに目を向ける姿勢

<p>学部等名 スポーツ人間学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページ、http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/09/3178558b1d6da16a3eea516e467157b3.pdf）</p>
<p>（概要）</p> <p>生涯学習社会への移行とともに高まっているスポーツや健康に対する社会の要請に応え、地域スポーツの振興と個人の健康づくりに貢献できる有為な人材を育成する。</p> <p><u>スポーツビジネス学科</u></p> <p>スポーツや健康に関する知識を習得し、スポーツビジネスの現場で活躍できる人材を育成する。</p> <p><u>スポーツ指導学科</u></p> <p>生涯スポーツの育成発展に努めながら、スポーツを通して地域社会に貢献できる教養豊かなスポーツ指導者を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：キャンパスガイド、入試要項、http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/85.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>生涯学習社会への移行とともに高まっているスポーツや健康に対する社会の要請に応え、地域スポーツの振興と個人の健康づくりに貢献できる有為な人材の育成を目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。</p> <p>①スポーツ健康分野の基礎的知識、技能の修得およびそれを基にした専門知識、技能の修得</p> <p>②スポーツ健康分野の知識、技能の活用能力</p> <p>③自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力</p> <p><u>スポーツビジネス学科</u></p> <p>スポーツや健康に関する知識を修得し、スポーツビジネスの現場で活躍できる人材を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。</p> <p>①スポーツ健康分野の基礎的知識、技能の修得</p> <p>②スポーツビジネス分野の専門知識、技能の修得</p> <p>③スポーツビジネス分野の実践的知識、技能の修得</p> <p>④修得した知識、技能の活用能力</p> <p>① 自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力</p> <p><u>スポーツ指導学科</u></p> <p>生涯スポーツの育成発展に努めながら、スポーツを通して地域社会に貢献できる教養豊かなスポーツ指導者を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学部・学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い学士の学位を授与する。</p> <p>①スポーツ健康分野に関する基礎的知識と技能の科学的視点からの理解およびそれを基にした専門知識、技能の修得</p> <p>②スポーツマンシップおよびリーダーシップの修得</p> <p>③スポーツマンシップおよびリーダーシップに基づく指導力の修得</p> <p>④スポーツ健康分野の課題分析力の修得</p> <p>⑤自立して行動できる姿勢、課題を発見し解決する能力</p>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入学試験要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/98.html>）

（概要）

生涯学習社会への移行とともに高まっているスポーツや健康に対する社会の要請に応え、地域スポーツの振興と個人の健康づくりに貢献できる有為な人材の育成を目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ① 高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ② 「学部共通科目」に配置している「体力トレーニング論」、「スポーツ心理学」、「生涯スポーツ論」などを中心にスポーツ健康分野の基礎知識に関する科目を設定する。
- ③ 「学部共通科目」に配置している「スポーツ政策・行政論」、「コーチング論」、「テニス」などを中心にスポーツ健康分野の基礎知識の活用能力を修得するための科目を設定する。
- ④ 専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、各学科に学科専門科目を設定し、各学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑤ 演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥ キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦ 成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

スポーツビジネス学科

スポーツや健康に関する知識を修得し、スポーツビジネスの現場で活躍できる人材を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき提供する。

- ① 高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ② 「学科専門科目」に配置している「流通論」、「経営基礎」などを中心にスポーツビジネス分野の基礎的知識に関する科目を設定する。
- ③ 「学科専門科目」に配置している「プロスポーツ経営論」、「スポーツビジネス論」などを中心にスポーツビジネス分野の専門知識に関する科目を設定する。
- ④ 「学科専門科目」に配置している「健康産業論」、「スポーツマネジメント論」などスポーツビジネス分野の基礎的知識の活用能力に関する科目を設定する。
- ⑤ 演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥ キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦ 成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

スポーツ指導学科

生涯スポーツの育成発展に努めながら、スポーツを通して地域社会に貢献できる教養豊かなスポーツ指導者を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき提供する。

- ① 高大接続の観点から、大学教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ② 「学科専門科目」に配置している「人のからだ健康」、「スポーツ理論」などを中心にスポーツ健康分野に関する基礎的知識と技能の科学的視点からの理解に関する科目を設定する。

- ③「学科専門科目」に配置している「健康運動指導演習」、「野外活動理論・演習」などを中心にスポーツマンシップおよびリーダーシップに基づく指導力に関する科目を設定する。
- ④「学科専門科目」に配置している「スポーツ統計学」、「測定と評価」などを中心にスポーツ健康分野の課題分析力の修得に関する科目を設定する。
- ⑤専門的な知識、技能および論理的思考力を育成することを目的として、スポーツ健康分野および教育に関する専門科目を設定し、本学科の教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。
- ⑥演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑦キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑧成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項、<http://www.siu.ac.jp/01soujou/100.html>）

（概要）

生涯学習社会への移行とともに高まっているスポーツや健康に対する社会の要請に応え、地域スポーツの振興と個人の健康づくりに貢献できる有為な人材の育成を目的としている。

【求める学生像】

本学部は、上記のような人材を育成するため、本学部の目的に賛同し、本学部・学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①健康やスポーツに深い関心がある人
- ②健康やスポーツを通じての地域貢献活動へ関心がある人
- ③中学校または高等学校の保健体育科教員職に関心がある人
- ④スポーツビジネス・健康分野に関心がある人
- ⑤スポーツビジネス・スポーツ健康指導分野に関する体系的・実践的カリキュラムの下、スポーツによる健康・体力の増進、運動能力の向上等に関する幅広い教養、専門知識、探究力を養い、身に付けた高い専門性、コミュニケーション能力、実践的能力、課題解決能力を生かして、スポーツを通じて健やかな生活を支援し、地域社会に貢献することのできる人

なお、本学部への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学部の教育に適応できる基礎学力
特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。
- ②スポーツを通じて得られた協同する姿勢
- ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④国内、海外のスポーツに目を向ける姿勢

スポーツビジネス学科

スポーツや健康に関する知識を修得し、スポーツビジネスの現場で活躍できる人材を育成することを目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①スポーツが好きで、スポーツの現場を支えること、学ぶことに強い興味を持っている人
 - ②スポーツ産業やスポーツ関連産業などスポーツ振興に将来的に関わっていく意欲があり、社会への貢献意欲の高い人
 - ③地域社会の様々な人々と明るく触れ合えるボランティア精神を持っている人
 - ④スポーツビジネスに関する体系的・実践的カリキュラムの下、同分野の幅広い教養、専門知識、探究力を養い、身に付けた高い専門性、コミュニケーション能力、実践的能力、課題解決能力を生かし、スポーツビジネスを通じて健やかな生活を支援し、地域社会に貢献することのできる人
- なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学科の教育に適応できる基礎学力
特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。
- ②部活動等を通じて得られた協同する姿勢
- ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④国内、海外のスポーツの動きに目を向ける姿勢

スポーツ指導学科

生涯スポーツの育成発展に努めながら、スポーツを通して地域社会に貢献できる教養豊かなスポーツ指導者を育成することを目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①スポーツ健康に関する知識と実技について強く関心を持っている人
 - ②理論と実践を通じてスポーツ健康科学に取り組む能力の向上を目指している人
 - ③スポーツ健康に関する活動について主体性を持って取り組んでいる人
 - ④保健体育科教員またはスポーツ健康関連指導者等を目指している人
 - ⑤スポーツ指導に関する体系的・実践的カリキュラムの下、スポーツによる健康・体力の増進、運動能力の向上、スポーツ指導に関する幅広い教養、専門知識、探求力を養い、身に付けた指導力、コミュニケーション能力、実践的能力、課題解決能力を生かし、リーダーシップを発揮して、生涯スポーツの育成発展に努め、スポーツ振興、地域社会の発展に貢献することのできる人
- なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。
- ①学科の教育に適応できる基礎学力
特に、資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際社会で活躍する人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力を要する。
 - ②部活動等を通じて得られた協同する姿勢
 - ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
 - ④国内、海外のスポーツの動きに目を向ける姿勢

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<http://www.siu.ac.jp/wp->

[content/uploads/2020/06/e536f21b11aff5dbc5b149ed917017ca.pdf](http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/06/e536f21b11aff5dbc5b149ed917017ca.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
人文学部	—	22人	10人	5人	0人	0人	37人
観光学部	—	11人	6人	8人	0人	0人	25人
スポーツ人間学部	—	16人	5人	3人	3人	0人	27人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
人				110人			110人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページによる公表 http://www.siu.ac.jp/01sougou/kyouin/5436.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
建学の礎、教育の基本的考え方及び学部等の教育目標に基づいて行う教育改善・向上に係る活動を支援するために、FD委員会を設置し、年間3～4回のFDを開催している。2019年度の開催状況は以下のとおりである。							
①本年度プレースメントテスト分析結果を踏まえ、各自の授業改善に資する							
②「北海道における教員育成指標」「教員採用候補者選考検査」等について理解を深める							
③能動的学習の技法について							
④UNIVAS（大学スポーツ協会）研修会							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	160人	144人	90%	700人	475人	68%	若干名	3人
観光学部	140人	141人	101%	560人	437人	78%	若干名	11人
スポーツ人間学部	140人	143人	102%	500人	521人	104%	若干名	2人
合計	440人	428人	97%	1,760人	1,433人	81%	若干名	16人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部	86人 (100%)	4人 (4.7%)	71人 (82.5%)	11人 (12.8%)
観光学部	61人 (100%)	1人 (1.6%)	50人 (82.0%)	10人 (16.4%)
スポーツ人間学部	102人 (100%)	1人 (1.0%)	92人 (90.2%)	9人 (8.8%)
合計	249人 (100%)	6人 (2.4%)	213人 (85.5%)	30人 (12.1%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：札幌国際大学大学院 就職先：(株)ソルハ、京王観光(株)、渡辺パイプ(株)、札幌トヨペット(株)、(株)あいプラン、(株)カナモト DCM ホームマック(株)
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
人文学部	102人 (100%)	77人 (75%)	13人 (13%)	12人 (12%)	人 (%)
観光学部	77人 (100%)	56人 (73%)	6人 (8%)	15人 (19%)	
スポーツ人間学部	113人 (100%)	93人 (82%)	7人 (6%)	13人 (12%)	人 (%)
合計	292人 (100%)	226人 (77%)	26人 (9%)	40人 (14%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 教員に対して次年度担当授業科目のお知らせをする際に、当該授業科目のシラバス原稿の作成依頼をあわせて行っている。シラバスの記載項目は、「講義の目的及び概要」「講義方法(当該担当教員の実務経験の有無を含む)」「授業計画」「到達目標」「成績評価基準と方法」「テキスト・参考文献」「事前事後学修」等について記載することとし、各項目の記載内容及び記載例をシラバス作成要領で示している。 シラバスは、Web 上で入力可能なシステムが構築されており、教員は Web 上に表示される次年度担当授業科目一覧から選択し入力していく。 入力締め切り後、「シラバスチェック実施要領」で定められたチェックの観点に基づいて、各学科等の教務部員が内容の確認を行う。チェックの結果、明らかに基準に合致していないと判断される場合には、当該教員にフィードバックし修正を求める。 なお、シラバスの作成についてはすべての学部で同様に進められ、当該年度の4月1日に Web 公開している。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 成績評価は定期試験だけではなく、授業内の小テスト・発表・レポート・課題への取り組み状況など複数の項目の合計得点によって決定している。科目担当者はこれらの配点をシラバスに明記するとともに、各項目の得点を記した資料を「単位成績認定書」に添付して提出し、成績の算出根拠を明示するなど厳密な成績評価を実施している。成績評価の基準は科目ごとにシラバスで示されており、『Study Guide』に明記されている次の2つの原則に則ったものとなっている。 1) 科目の単位は、実施された全ての回の授業についての学習と、事前事後の自己学習に対して認められる。 2) 病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要である。

また、学習を効果的に進め、その質を高めるためにGPA制度を全学部で統一的に導入している。学生の成績評価を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができる。GPAは科目毎の成績評価に対して0.0点(不可)、1.0点(可)、2.0点(良)、3.0点(優)、4.0点(優+)のグレードポイントをつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出する。また、GPAの算出方法については『Study Guide』に明記して学生に周知するとともに、各学期末にはGPAが記載された個人成績表を保護者に送付する際、GPA制度について明示している。

なお、GPAの数値に応じて次の学期の履修上限単位数が学生ごとに決まるCAP制度を採用しており、これを厳正に適用している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	現代文化学科	124 単位	有・無	半期 22 単位 (GPA により変動)
	心理学科	124 単位	有・無	半期 22 単位 (GPA により変動)
観光学部	観光ビジネス学科	124 単位	有・無	半期 22 単位 (GPA により変動)
	国際観光学科	124 単位	有・無	半期 22 単位 (GPA により変動)
スポーツ人間学部	スポーツビジネス学科	124 単位	有・無	半期 22 単位 (GPA により変動)
	スポーツ指導学科	124 単位	有・無	半期 22 単位 (GPA により変動)
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 :

<http://www.siu.ac.jp/wp->

[content/uploads/2020/06/45578ece6e65c8a36661d383335a0ba3-1.pdf](http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/06/45578ece6e65c8a36661d383335a0ba3-1.pdf)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	現代文化 学科	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
	心理学科 (臨床心理専攻)	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
	心理学科 (こども心理専攻)	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
観光学部	観光ビジネス学科	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
	国際観光学科	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
スポーツ人間学部	スポーツビジネス学科	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
	スポーツ指導学科	1年次 810,000円	230,000円	158,800円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2・3年次 820,000円	—	137,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費
		4年次 820,000円	—	152,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>全学的な学習支援施策の企画及び実施、並びに教育活動の継続的な改善の推進及び支援により、教育の質保証及びその一層の向上を図るために修学指導室を設置している。修学指導室が備える主な機能は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン貸出：学内で利用できるタブレットPCの貸し出し運用管理 ・学修相談：大学の学修に関わる質問の受け付け ・個別学習スペース：一人ひとりに分かれた個別学習スペースの設置 ・共同学習スペース：6人掛けテーブル、ホワイトボードを備えたグループワークスペース ・ラウンジ：飲食、私語可能な、友人と語らいながら学習のできるスペース ・教育支援センター文庫：センターが推薦する学術入門書、参考書を整備
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学は「建学の礎」に基づいて「自由・自立・自省」の精神を備えた有為な人材を育成することを目標とし、そのための教育課程と学習環境を提供している。具体的には以下の通り。</p> <p>1. コミュニケーション能力の育成</p> <p>社会生活上のエチケットを守り、あらゆる場面で、さまざまな人と言葉やそのほかの方法で深くコミュニケーションを図る能力を育成する。</p> <p>(1) マナー講座の実施</p> <p>(2) ゲスト講演会の開催</p> <p>(3) 日本語・数学・英語プレイスメントテストの実施とフォロー</p> <p>(4) 話す力、聴く力、自分をアピールする力を高める学習の支援</p> <p>2. 学生の自立支援</p> <p>学生の自立と、一人ひとりが達成感のある学生生活を送るための支援をする。</p> <p>(1) 個人面談の実施</p> <p>(2) 学生個々に合わせた求人情報の提供</p> <p>(3) 最新の就職情報・就職活動情報の提供</p> <p>(4) 道外出身学生への就職活動支援</p> <p>3. 1年次からの進学・就職支援</p> <p>学生が将来の活躍の場を考え、一人ひとりが自分のキャリアデザインをイメージできるように、段階的なプログラムや資料、情報を提供する。</p> <p>(1) アドバイザー教員との面談</p> <p>(2) 就職ガイダンス・講演会の開催</p> <p>(3) 就職適性テストの実施</p> <p>(4) 業界研究セミナーの開催</p> <p>(5) 合同企業説明会の開催</p> <p>(6) 資格取得講座の開催</p> <p>(7) 関連科目への協力（資料提供、出前講義、講師派遣など）</p> <p>(8) 全国大学実務教育協会認定資格取得の奨励</p> <p>4. 東北地方出身学生の就職支援</p> <p>東北地方出身で、地元に戻っての就職を希望する学生のために、キャリア支援センターでは企業の採用情報収集を強化している。</p> <p>5. キャリア支援センター</p> <p>「キャリア支援センター」は、就職・進学活動に取り組む学生をさまざまな面からサポート。進路についての相談や就職に関するアドバイス、専門スタッフによる面接や履歴書の書き方の指導なども行っている。</p> <p>各業界とのネットワークも幅広く、企業や就職に関する情報を豊富に蓄積。就職や進学、キャリアアップについて、最大限の支援をしていく。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p>

(概要)

学生の心身両面の健康増進及び修学支援の充実を図り、質の高い教育環境の保証及びその一層の向上に資するため、心理相談部門である「学生相談室」、健康支援部門である「保健室」及び修学支援部門である「学生サポートルーム」の3部門を統括する学生サポートセンターを設置している。

・学生相談室では、専門のカウンセラーが学生生活を送るうえで出会う様々な問題や悩みを聴きより良い解決方法を共に考える場を提供している。

・保健室では、急病やケガなど日常の応急手当はもちろん、その他の健康に関することの相談に応じている。

・学生サポートルームは、面談室やフリースペース、個別学習室、セミナールームなどを備え、障がいを抱える学生や困りごと、心配事のある学生の修学支援（合理的配慮）、日常にかかる様々な悩みについて、福祉の国家資格を持つキャンパス・ソーシャルワーカーが相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.siu.ac.jp/01sougou/information/9297.html>